

Title	Communication-Design 11 奥付・裏表紙
Author(s)	
Citation	Communication-Design. 2014, 11
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/50090">https://hdl.handle.net/11094/50090</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# Communication-Design 11

異なる分野・文化・フィールド——人と人のつながりをデザインする

企画 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

編集・制作 三成賢次  
本間直樹  
西川 勝  
内野 花  
内田みや子

表紙デザイン 清水良介

2014年8月29日 発行

発行 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD)  
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-16  
Tel. 06-6850-6111 (大阪大学代表) Fax. 06-4865-0121  
<http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/>

印刷所 能登印刷株式会社

© Center for the Study of Communication-Design and Authors. All Rights Reserved.

2014 Printed in Japan

本書における全ての著作権は、大阪大学コミュニケーションデザイン・センターとその著者に帰属します。無断転載を禁ず。

㊦〈日本複写権センター委託出版物〉

本書を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

本書をコピーされる場合は、事前に日本複写権センター（JIRC）の許諾を受けてください。

JIRC [<http://www.jirc.or.jp> eメール：info@jirc.or.jp 電話：03-3401-2382]

ISSN 1881-8234

この文書は、特定の学術的または技術的トピックに関する詳細な議論を提供する。内容は、関連する分野の最新の研究成果や理論的考察に基づいて構成されている。本文は、読者に深い理解と洞察を提供することを目的としており、専門的な知識と批判的思考を必要とする。本文の構成は、導入、本論、結論の順に進む。各セクションは、明確な論理と証拠に基づいて展開されている。参考文献は、信頼性の高い情報源に基づいて提供されている。本文は、学術界や専門家の間で広く引用され、議論の材料として役立つ。本文の目的は、読者に最新の知見を伝え、今後の研究や実践に貢献することにある。本文は、学術的厳格さと透明性を保ち、読者の理解を促進することを目指している。本文は、学術界や専門家の間で広く引用され、議論の材料として役立つ。本文の目的は、読者に最新の知見を伝え、今後の研究や実践に貢献することにある。本文は、学術的厳格さと透明性を保ち、読者の理解を促進することを目指している。